

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ガーデン工房
会社名 : イビケン株式会社 伊吹事業所
住所 : 滋賀県米原市伊吹1284番地
電話番号 : 0749-58-1188
FAX番号 : 0749-58-0888
推奨用途及び使用上の制限 : 主に土舗装材として用いられる。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性 : 分類できない
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分5
急性毒性 (皮膚・経皮) : 区分1C
急性毒性 (気体・蒸気・粉塵・ミスト) : 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (呼吸器系・腎臓・免疫系)
環境に対する有害性 : 分類できない
■記載がないものは区分に該当しないまたは分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
: 臓器 (呼吸器) の障害
: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (呼吸器) の障害
: 飲み込んで、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
注意書き
安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること
: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: 粉じんを吸入しないこと。

- 保管
- : 取扱後は汚染された箇所をよく洗うこと。
 - : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/防塵マスクを着用すること。
 - : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - : 開封済みの製品は使い切るか、防湿性のある容器包装材料を使用すること。
 - : 直射日光、高温多湿を避け、室内に施錠して保管すること。
- 廃棄
- : 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区分 混合物

成分、含有量及びCAS No.

| 組成 | CAS No. | 化審法番号 | 含有量 |
|------------|------------|--------|--------|
| 炭酸カルシウム | 471-34-1 | 1-122 | 60~80% |
| ケイ酸カルシウム | 12168-85-3 | 1-194 | 5~20% |
| アルミン酸カルシウム | 12042-78-3 | 9-2408 | 1~10% |
| その他 | — | — | 1~10% |

- ・国連基準で評価して危険物に該当しない。
- ・原料に石綿を使用していない。
- ・厚生労働省より室内濃度指針値又は指針値案が出された揮発性有機化合物 (VOC) を使用していない。

4. 応急措置

- 吸入した場合
- : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し安静を保つ。呼吸しやすい姿勢で休息し、気分が悪い時は直ちに医師の手当を受ける。
- 皮膚 (または髪) に付着した場合
- : 直ちに水と石鹼で付着した製品を完全に洗い流す。
 - 気分が悪いときは医師に連絡する。
- 眼に入った場合
- : 直ちに清浄な水で数分間洗浄した後、眼科医に科学名を伝えて手当を受ける。
- 飲み込んだ場合
- : 直ちに医師に科学名を伝えて手当を受ける。水で口内だけをすすぎ、無理に水を飲ませて吐かせてはならない。
 - 直ちに医師の診断を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状
- : 製品を長時間皮膚・目に付着した状態にさせると、場合により角膜の損傷や、カユミを感じたり赤斑を生じることがある。
- 応急措置をする者の保護
- : 状況に応じて適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 大量の水、炭酸ガス、泡、粉末などが使用できる。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし
- 特定の消火方法 : 知見なし
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 除去方法・二次災害の防止策 : 漏出、飛散した場合は、掃除機、スコップ、ほうき等を使用してできるだけ粉体の状態で回収し廃棄まで容器で保管する。
- : 暴雨等による再飛散の恐れがある場合はシート等によって覆う。
- : 関係者以外の立入りを禁止する。
- 人体に対する注意事項 : 必ず保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク、保護衣等を着用し、粉じんを吸入したり、皮膚への付着を防止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物が直接河川や下水に流出しないように注意する。
- : 粉じんが飛散しないように注意しながら、掃除機等で吸い取って回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- : 取り扱いは換気の良い場所で行い、必要な場合は局所排気を行う。
- 注意事項 : 破袋防止のため製品の積み重ねは丁寧に行い、積み段の制限を守る。
- : 破袋防止のため製品を投積みしないこと。
- : 吸湿させないようにパレットの上に置く等の措置を取る。
- 取扱後は、皮膚、顔面等の露出部分を石鹸でよく洗う。作業衣はよく洗濯をする。

保管

- 技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光照明及び換気の設定を設ける。
- 混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管条件 : 高温多湿を避けて屋内保管庫に保管する。容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。
- 容器包装材料 : 透湿性のない材質。
- 例) ガラス・プラスチック容器、透湿性のない紙袋、フレキシブルコンテナ、スチール製ドラム缶等

8. 暴露防止及び保護装置

| | |
|------|---|
| 管理濃度 | : 設定なし |
| 許容濃度 | : 日本産業衛生学会 設定なし : ACGIH 設定なし |
| 設備対策 | : 通気が良くない屋内作業場所の場合は、全体換気装置を設ける。 |
| 保護具 | : 呼吸用保護具: 粉塵が多い場合は、保護マスクを着用する。 : 眼の保護具: 保護眼鏡を着用する。 : 手の保護具: 保護手袋 (ゴム手袋) を着用する。 : 皮膚及び身体の保護具: 作業着を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|----------------|
| 物理的状態 | : 固体 |
| 形状 | : 粉末、粒状 |
| 色 | : 茶褐色～灰褐色 |
| 臭い | : 無臭 |
| pH | : 11.0～13.0 程度 |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点および沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 比重 (相対密度) | : データなし |
| 溶解度 | : 水に難溶 |
| n-オクタール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|----------------------|
| 安定性 | : 通常の手扱い条件 (常温) では安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の手扱い条件 (常温) では安定 |
| 避けるべき条件 | : 高温・多湿 水・酸との接触 |
| 混触危険物質 | : データなし |

1 1. 有害性情報

| | | |
|--------------------|----------|--|
| 急性毒性 | 経口 | : データなし |
| | 経皮 | : データなし |
| | 吸入 (粉じん) | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | | : 経験的に長時間、微粉末を皮膚に付着させるとカユミを感じたり、赤斑を生じる場合があるが、判定できるデータなし。 |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | | : 目に付着した状態にさせると角膜の損傷や刺激を生じる場合があるが、判定できるデータなし。 |
| | | : データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | | : ヒト生殖細変異原性を判定できるデータなし。 |
| 生殖細胞変異原性 | | : データなし |
| 発がん性 | | : データなし |
| 生殖毒性 | | : データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) | | : データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) | | : データなし |
| 誤えん有害性 | | |

1 2. 環境影響情報

| | |
|-----------|---------|
| 環境影響・生態毒性 | : データなし |
| 残留性/分解性 | : データなし |
| 生態蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : データなし |
| オゾン層への有害性 | : データなし |

1 3. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。 洗浄水の排水は、凝集沈降、活性汚泥等の処理により洗浄してから廃水する。 |
| 汚染容器及び包装 | : 空容器・包装を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理委託する。 |

1 4. 輸送上の注意

| | |
|--------|---------|
| 国際規制 | : 該当しない |
| 国内規制 | : 該当しない |
| 海洋汚染物質 | : 該当しない |
| MARPOL | : 該当しない |

一般的注意 : 運搬に際しては、容器の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

| | |
|--------------------|-------------|
| 労働安全衛生法 (特化則・有機則) | : 粉じん障害防止規則 |
| 労働安全衛生法 (表示・通知対象物) | : 該当しない |
| 化審法 | : 該当しない |
| 消防法 | : 該当しない |
| 毒物及び劇物取締法 | : 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法 | : 該当しない |
| 大気汚染防止法 | : 該当しない |
| 海洋汚染防止法 | : 該当しない |
| 水質汚濁防止法 | : 該当しない |

16. その他

※引用文献

製品評価技術基盤機構 (NITE) の公開情報及び原材料メーカーからの情報

※分類方法

JIS Z 7253-2012「GHSに基づく科学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」を参照

記載内容の問合せ先: イビケン株式会社 0749-58-1188

【注意】 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は、用途に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので取扱いに十分に注意して下さい。